

平成28・29年度 大島地区研究協力校「道德教育」 伊仙町立面縄中学校 研究公開

平成29年10月12日(木)
公開

道德的価値の理解を深め、よりよく生きる力を育むための道德教育の推進

I 研究の構想図〔研究の仮説，研究内容，研究主題の考え方〕

< 目指す生徒像 >

自他を敬愛し、心の交流ができる生徒

< 研究主題 >

道德的価値の理解を深め、よりよく生きる力を育むための道德教育の推進

仮説1 自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考える手立ての工夫

- (1) 主題を自分自身の問題として考えさせる導入の工夫
- (2) 一単位時間の基本的な指導過程
- (3) 思考を深める構造的な板書
- (4) 多様な価値観に触れる学び合い
- (5) 自分自身を見つめる場の工夫

道德の時間

授業改善

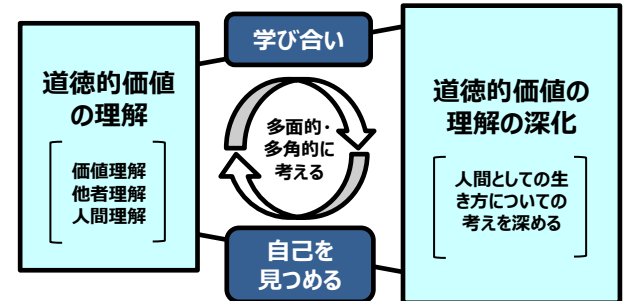
仮説2 互いに励まし、認め合う（物的・人的）環境づくり

- (1) 道德教育の別葉の整理
- (2) 校内掲示の整備
- (3) 多様な集団での活動
- (4) 生徒会活動の活性化
- (5) 家庭、地域との連携

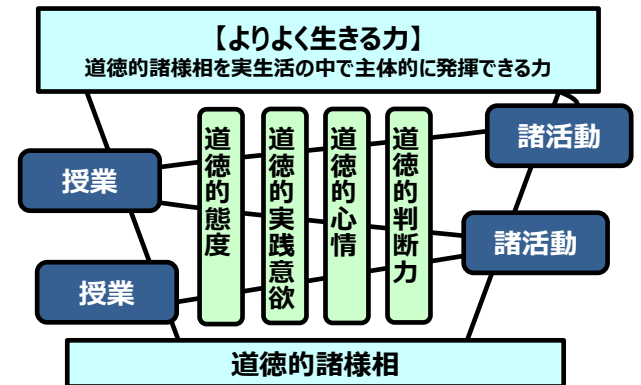
教育活動全体

環境改善

1 「道德的価値の理解を深める」とは



2 「よりよく生きる力を育むとは」とは



II 研究授業及び分科会の様子



主題を自分自身の問題として考えさせる導入
多様な価値観に触れる学び合い



思考を深める構造的な板書
多様な価値観に触れる学び合い



多様な価値観に触れる学び合い
自分自身を見つめる場の工夫



1年 分科会



2年 分科会



3年 分科会



全体会 I (開会行事)



全体会 II (指導講話)

〔研究公開に参加された先生方より〕

- 身近な資料やICTの活用により、子どもたちの追究意欲を高めていた。
- 自分自身のこととして、一生懸命に考える生徒の姿がすばらしかった。
- 生徒が自然にペアやグループでの話し合い活動ができていた。
- 意図的な板書で思考の流れを捉えやすくしていた。
- 学び合いを成立させる4つの条件が分かりやすかった。
- 別葉や評価の具体的な手法も知りたかった。
- 研究協議の時間がもう少し欲しかった。
- 根拠を明確にして発表させると、価値の理解がより深まると思う。